

水問題に関する協議会・第8回幹事会の概要

水問題に関する協議会第8回幹事会の会議結果は、次のとおりです。

- 1 日時 平成25年5月31日（金）午後1時30分～午後2時30分まで
- 2 場所 県議会議事堂4階 農林水産・建設委員会室
- 3 会議の概要
西条市から、「地下水資源調査結果と道前平野地下水資源調査研究委員会の答申」について説明があり、意見交換を行いました。

【西条市の説明】

- 課題である地下水の低下と塩水化を防止するためには、加茂川からの伏没量を確保することが重要である。
- この伏没量について、専門家で構成する「道前平野地下水資源調査研究委員会」で、地下水資源調査結果を用いて科学的に解析を行い、「加茂川からの伏没量がかんがい期（5月～9月）に $3.5\text{ m}^3/\text{s}$ 以上確保できれば、将来にわたり地下水の安定的な水位の維持と塩水化の防止が可能と判断される」との答申を受けた。
- 調査結果や答申内容については、市民に、西条平野の地下水の状況を正しく理解していただくために、わかりやすく説明していきたい。

【主な意見交換の内容】

- (1) 伏没量 $3.5\text{ m}^3/\text{s}$ に相当する加茂川流量について
 - (新居浜市) 伏没量 $3.5\text{ m}^3/\text{s}$ は、河川流量ではどのくらいになるのか。
 - (西条市) 答申の中に、釜之口堰上流部の船形付近で $5\text{ m}^3/\text{s}$ の流量が確保できれば、地下水の良好な状態が維持されるとの報告があり、これは伏没量に換算すると $3.5\text{ m}^3/\text{s}$ となる。
- (2) 塩水化の進行について
 - (県) 塩水化のシミュレーションでは、一定の伏没量を確保すれば塩分濃度の上昇が停止しているが、効果としては塩水化をくい止めるということか。
 - (西条市) 一旦塩水化が進むと元に戻すことは難しいので、これ以上塩水化を進めないためには緊急に対策が必要である。
- (3) 今後の検討について
 - (県) 市民の意見などを聞きながら今後どのように検討を進めていくか。
 - (西条市) この答申は、専門家が科学的な解析を行いまとめたものであり、これを尊重し、市民説明で様々な意見をいただきながら、将来にわたって地下水を保全していくための方策を検討していきたいと考えているので、この会議で引き続き協議をお願いする。